

# AMED理事長賞

## 脂質メディエータ受容体を標的とした骨肉腫の増殖・転移を阻害する新治療法の開発

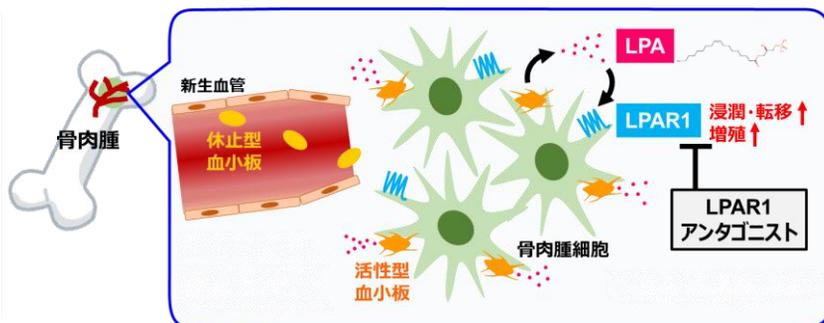
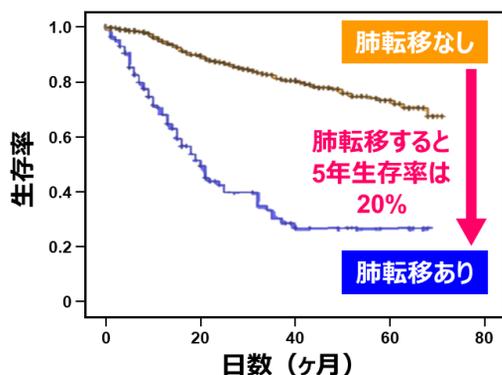
### <受賞者>

高木 聡（公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部 研究員）

### <功績>

約40年間も新薬が承認されていない骨肉腫について、肺転移機構を解明し、骨肉腫の増殖や転移を阻害するための治療標的を見出した。独自のモダリティ開発を進めるなど、治療薬開発への応用が期待される。

### 【LPA-LPAR1経路を介した骨肉腫の新規悪性化機構を解明】



### 治療法・治療薬の開発

- LPAR1アンタゴニスト（企業連携）
- 新規モダリティ
- 新規併用療法
- 脳腫瘍（膠芽腫）などの治療薬への拡大

※LPA：リゾホスファチジン酸  
LPAR1：リゾホスファチジン酸受容体1

### <概要>

- 骨肉腫の転移機構を解明し、活性化された血小板から産生・放出されるリゾホスファチジン酸（LPA）が骨肉腫の浸潤能を亢進することを突き止めた。
- これらを標的とした創薬がグローバル製薬企業で臨床開発が進行しており、ドラッグリポジショニングとしての実用化と、また独自の新規モダリティ開発が進められている。
- 骨肉腫を対象とした新規LPAR1アンタゴニスト治療薬の開発が期待できる。
- LPAR1は骨肉腫以外に脳腫瘍で発現亢進しており、治療薬の拡大も期待される。